

平成 29 年 4 月 11 日

関係者各位

社会福祉法人どろんこ会
理 事 長 安 永 愛 香

今朝 4 月 11 日毎日新聞朝刊に掲載された「借りた柵で保育園認可」 の記事に対する法人の見解

平成 29 年 4 月 11 日（火）に毎日新聞朝刊に掲載された記事について、当法人の見解、及び、事実を以下書面にてお伝えいたします。

平成 29 年 4 月 11 日（火）に毎日新聞朝刊に掲載された記事の事実説明

記事記載の表現	当法人の見解・事実の説明
借りた柵で保育園認可	平成 29 年 4 月 3 日（月）17:00 より東京都庁にて、指導監査課・指導検査部・少子社会対策部・西東京市保育課との話し合いを行い、その席で、「機能が維持されていればモノが変わることは問題ない」と確認しており、法人としては同一機能の備品を開園までに揃えていたものと考えております。
（法人） 2 月 16 日、法人の職員に対し、近くの系列施設から必要な備品を運んで写真を撮り、都に是正報告するよう指示した。	東京都の是正報告書提出期日が伝えられる前に、数百点におよぶ武蔵野どろんこ保育園の備品類は既に発注済みであり、搬入予定日である平成 28 年 2 月 29 日には受入設置担当スタッフのシフトが組まれておりました。
（職員） 記憶では 2 月 22 日、近隣施設から間仕切りなどの備品を運んだ。	一方で、東京都の是正報告書提出期日はそれ以前の平成 28 年 2 月 22 日であったため、当日は近隣園にて保管されていた余剰の備品を手配し、検査を受けております。 その後、予定通り平成 28 年 2 月 29 日に備品一式が納品され、東京都が求める機能を確保した状態で開園を迎えております。

（追記）去る平成 29 年 3 月 28 日に東洋経済オンラインに掲載された記事について、当法人に対して事実の確認無く一方的な形で事実と異なる内容が多数掲載されていることから、東洋経済新報社、及び、ライターの大川えみる氏に対し、平成 29 年 4 月 6 日付で正式に抗議の申立を行いました。